

特定非営利活動法人大富士フットボールクラブ（NPO法人大富士FC）

活動趣旨

「大富士フットボールクラブ」は、昭和57年に前身である「大富士サッカースポーツ少年団」として活動を開始し、平成12年には現在の「大富士フットボールクラブ」に改称し、これまで40年余りもの間、ジュニア（小学生）サッカーを通じ、地域の青少年の健全育成のため、多くの皆様にご理解とご協力をいただきながら活動を行ってまいりました。

現在のジュニアサッカー界は、近年の少子化問題もさることながら、この10年でチーム車両による送迎付きの法人格を有するクラブチームが主流になってきており、両親共働きの家庭の増加、時代と共に変化する保護者の皆様のニーズ（優先して求めること）も相まって、保護者への負担が極めて少ない、このようなチームを選択する傾向が顕著であります。

また、このようなクラブチームは、特に富士宮市外に多数存在しており、現状、多くの富士宮市民の子どもたちがサッカーを習いに市外へ通っている状況です。

私共としましては、「富士宮の子どもたちが、あえて市外へ行かずとも、地元富士宮でサッカーが学べる環境を是非とも整えたい」という考えの下、そのために我々にできることは何か？スタッフ間で協議を重ねた結果、大事なお子さんを預けていただくために、まずは保護者の皆様に組織として確固たる信頼を得ること、サッカーの楽しさを伝える（興味を持ってもらう）ための数多くの催しを企画すること、サッカーを好きであり続け、かつ、選手としての能力を高めることができる指導体制を充実させること、これらが必要であると考え、その実現のため、法人化を目指すに至り、この度、令和4年8月8日をもって「特定非営利活動法人大富士フットボールクラブ（NPO法人大富士FC）」設立の運びとなりました。

今回のNPO法人化により、組織基盤をより強固なものとし、これまで任意団体として実践してきた活動や事業を更に地域に定着させ、継続していくこと、及び財政的な基盤の拡大、かつ、透明性のある堅実な運営を行っていく中で、更に活動の幅を広げていき、サッカーを主としたスポーツを通じ、「富士宮市民の子どもたちを地元富士宮で、地域で育てる」「地域住民が、安心して楽しくスポーツする場を提供する」環境の構築を目指してまいります。